

# 韭 工 ニュース

県立韭崎工業高等学校  
第153号

総務部  
2016.12.12

就職内定率 100%  
甘利山登山強歩大会実施  
高校芸文祭の活躍  
みんなで協力献血運動

## 今年度も就職内定率100%達成（平成16年度から13年連続）

11月21日、今年度も就職内定率100%が達成されました。経済状況の緩やかな回復に伴う人手不足問題を背景に、高卒求人は昨年同様好調で、本校にとって大きな追い風となりました。5月下旬から来校者が増え、企業紹介や求人案内の対応に追われました。7月の求人受付日から出足は好調で、製造業を中心に多くの求人をいただき、県内求人件数は公開（WEB）求人を含め275件、県外求人は400件を超えました。就職試験への対応としては、学科・学年の先生を中心に面接及び学習指導に重点を置き、多くの時間を確保して進めてきました。就職戦線に挑む生徒の意識も高まり、3年間積み重ねた努力の成果が発揮され、次々と内定を勝ち取り、一次応募では合格率90%と素晴らしい結果を得ることができました。年内での就職内定率100%達成を目標としていましたが、予想をはるかに超える早期達成となりました。求人状況が好調だったとは言え、3年生の頑張りは高く評価できると思います。



企業の本校に対する期待度は年々大きくなっています。工業高校で専門的な技術や技能を身に付けること、有用な資格を取得すること、地域で活躍できる人材となることなどが理由として挙げられます。製造業で求人が増えているということは、工業高校生にとっては自分の実績をアピールできるチャンスです。また、技能・技術、資格、諸活動なども大きな「売り」になります。1、2年生も自分自身の「魅力」をますます高め、やがて来る就職・進学試験に向け準備を進めてほしいと思います。

## 第49回甘利山登山強歩大会実施

今年で49回を数える甘利山登山強歩大会が11月2日（水）に開催されました。男子は山頂往復の30km、標高差1153m、女子は樫池往復の21km、標高差853mを7時間の制限時間内に、往路はひたすら登り、復路はひたすら下るというハードなコースです。今年は466人が出走し456人が制限時間内に完走、完走率は過去最高の昨年（98.7%）には及ばなかったものの、記録が残るここ16年間では3番目に高い97.9%という素晴らしい結果でした。出走者全員が完走を果たしたクラスは、全18クラス中11クラスありました。男子（30km）のトップは、2時間29分59秒という記録で1年1組 中田朋輝君（明野中出身）、女子（21km）では、2年6組 小澤玲菜さん（白根巨摩中出身）が2時間39分02秒でゴールし、昨年に続き2連覇を果たしました。保護者の方々に早朝より準備していただいた温かい豚汁をほおぼる生徒の表情は、達成感と満足感に満ち溢れていました。



## 高校芸術文化祭開催 太鼓部芸術文化祭受賞

11月6日(日)に、第37回山梨県高等学校芸術文化祭郷土芸能部門に太鼓部14名が出場しました。当日の演奏では、大きなミスもなく生徒一人ひとりが楽しみながら演奏を行うことができました。



太鼓部が創部され16年が経ちますが、強豪校の笛吹高校太鼓部と肩を並べ演奏の勝負ができるまでに成長し、この度、初めて最優秀賞(山梨県1位)である「芸術文化祭賞」を受賞することができました。そしてそれと同時に、来年8月に宮城県で行われる全国総文祭(全国大会)への出場も決定しました。

今年は特に部員同士の仲が良く、日々の練習や演奏活動で多くの意見を交わしながら目標に向け全力で取り組んできました。3年生を中心に大きな成果を挙げられた嬉しさを大切にし、来年の全国大会に向けて、初心を忘れず全力で取り組んでいきたいと思えます。

外部講師をはじめ、日頃から温かくご支援くださる保護者の皆様にも感謝申し上げます。



## 文学部門俳句の部で優秀賞受賞

文学部門俳句の部では、1年4組の井口伊織君(甲府西中出身)の作品「蚊帳に入り蛙の声に耳すます」が優秀賞に選ばれました。11月15日に行われた表彰式の後、小説や詩、短歌、随筆・評論の部の受賞者らとの研修会にも参加しました。井口君は「国語の授業の時間に作りました。ふと浮かんだ言葉を五・七・五の音の数に合うように構成したもので、家にはもちろん『蚊帳』はありませんが、昔の情景を想像してみました。まさかこのような賞をもらえるとは思っていませんでした。」と喜びを語ってくれました。



日本語はとても豊かで美しいものです。季節のうつろいに目を向け、思ったり感じたりしたことを言葉にしてみることは、工業高校生である皆さんにもとても大切なことです。俳句は得意ではないという人は、気軽に川柳にチャレンジしてみませんか？

## みんなで協力献血運動



12月8日(木)に本校玄関前において、献血が実施されました。山梨県赤十字血液センターからの協力依頼に、生徒45名教員10名の申し出があり、最終的には48名が献血に協力しました。申し出をしてくれた生徒は、集合や持ち物の指示を守り、時間通りスムーズに行動してくれました。みなさんの温かい思いが、献血者が減少しがちな冬期の血液確保につながり、社会の役に立っています。ボランティア活動に関心を持ち、協力してくれた方々に感謝したいと思います。

URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>

e-mail [info@nirasakith.kai.ed.jp](mailto:info@nirasakith.kai.ed.jp)